和泉都議　予算特別委で論戦

都民に背をむけた小池都政の姿が浮きぼりに

パネルを示して質問をする和泉都議

和泉なおみ都議は三月七日、予算特別委員会で日本共産党を代表して総括質疑を行いました。

和泉都議は学校給食無償化への都の補助、高齢者への聞こえの補助拡充など切実な都民要求実現をもとめました。また、都立若洲ゴルフ場利用の一部政治家の口きき問題、三〇〇〇本の樹木伐採と秩父宮ラグビー場がなくなる神宮外苑再開発、都幹部職員がいるところで五輪談合が行われた疑惑、公正性が疑われているにもかかわらず受験生や区市町の教育委員会の声を聴かずに強行した英語スピーキングテストなど多岐にわたる問題をとりあげ論戦しました。

この質問で学校給食、聞こえの支援については貴重な前進をかちとることができましたが、小池都政が歪めている他の問題については、都は無責任な逃げ答弁に終始して、小池都政が都民に背をむけ、一部政治家や大企業のいいなりになっている姿が浮きぼりになりました。

学校給食

「都が区市町村へ補助することは法的に可能」

学校給食の無償化について和泉都議は「葛飾区はいち早く給食無償化に踏み出しました」ときり出し、無償化を喜ぶ親たちの声や先生の声を紹介しながら学校給食法第十一条は、食材費などの負担を保護者に義務づける規定ではない、と明らかにして「区市町村立小中学校の給食費の保護者負担について都が市町村に補助を行うことは法的に可能だと思うがどうか」と質問しました。

これに対して都教育長は「昭和二九年に発出された文部省事務次官通達では学校給食法等について『児童の給食費の一部を補助するような場合を禁止する意図ではない』とされている」と答弁しました。

聞こえの支援

「今後、効果的な施策を検討したい」と答弁

和泉都議は「聞こえの支援」について「高齢化がすすんでいる東京でますます力を入れていくべき課題だ、都内で補聴器購入費への補助を行う区市町村が増えているが、さらに実施を増やし内容を充実させていくために東京都の役割が重要だ」と指摘し、「加齢性難聴の早期発見や、補聴器利用の促進を図ることが重要だと思うがどうか」と質問しました。

これに対し都は「今後、区市町村や専門家などの意見を聞きながら効果的な施策を検討したい」と答えました。

和泉都議はさらに「よりよい制度にするために医師会や耳鼻咽喉科頭頸部外科学会などから意見を聴いて検討することや、早期発見のための健診や相談支援、適切な補聴器の調整が行われるための仕組みづくりなどの検討をもとめました。

都政報告会を行います

とき　4月2日(日)午後2時

ところ　シンフォニーヒルズ別館　ラベンダー

久しぶりの報告会です。
ぜひ、ご参加ください。

日本共産党都議会議員
和泉なおみ の
さわやかレポート
発行　和泉なおみ事務所
葛飾区東立石 3-25-8
TEL 5671-0850
FAX 5671-0851
NO.78
2023.3